

事業実施報告書

- | | |
|----------------------|---|
| 1 実践テーマ | I ・ II Ⅲ・ IV ・ V（複数選択可） |
| 2 実施対象者
(学 年・人 数) | 学校名：京都市立九条塔南小学校
対象学年：4年生
クラス：2クラス
人数68人（4ー1 34名 4ー2 34名） |
| 3 展開の形式 | <p>(1) 学校における活動</p> <p>①教科名（ 総合的な学習の時間 ）</p> <p>② 行事名（ ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他 （ ）</p> |
| 4 目 標
(ねらい) | 車椅子バスケット体験をすることで、車いすを使ったスポーツのおもしろさや、難しさについて学ぶ。また、選手や監督から、障害についての説明や自身の体験談を聞くことで理解を深めたり、障害をより身近に感じたりできるようにする。 |
| 5 取組内容 | <p>【事前学習】
足の障害について、インターネットや本を活用して調べた。</p> <p>【車いすバスケット体験】</p> <p>① 車いすバスケットのルール説明</p>  <p>② 車いすの操作体験</p>  |

	③ 車いすバスケットの試合  ④ 選手からのお話  【事後学習】 ① 感想を振り返りワークシートに記入 ② 選手・監督への手紙
6 主な成果	障害に対する理解が深まったり、車いすバスケットの魅力を感じたりすることができた。また、選手の話聞くことで、これまでよりも障害を身近に感じ、だれもが豊かに暮らせる町づくりを目指したいという意欲を持つことができた。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	「総合的な学習の時間」としての位置づけで、学習を行った。福祉について学習していく中で、車いすバスケット体験を取り入れ、実感の伴った学習とした。
8 主な課題等	実施時期を、「総合的な学習の時間」で予定していた時期に合わせることができなかった。
9 来年度以降の実施予定	次年度のことは、これから検討していきます。